

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

2026 No.610

10/1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



令和8年熊本地震における 医療支援として本会会員 派遣される!



このたびの熊本県を震源とする地震（2026年7月28日発災）により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

被災地域の医療機関におかれましては、自らも被災される厳しい状況の中、地域医療を支えるためにご尽力されている医療従事者ならびに関係者の皆さまに、深い敬意と感謝を申し上げます。

今回の地震を受け、熊本県から厚生労働省を通じて、被災地域の医療機関に対する診療放射線技師の派遣要請がありました。

本会ではこの要請を受け、JARTISに「災害支援登録診療放射線技師（登録技師）」として登録いただいている会員の中から派遣者を選任し、被災地域における医療支援活動に派



遣しました。派遣された診療放射線技師は、現地の医療機関および関係機関と連携しながら、被災地域における診療放射線業務を支援し、地域医療の継続に貢献しました。

急な派遣要請にもかかわらず、被災地での支援活動にご協力いただいた登録技師の方々、ならびに派遣に際して多大なるご理解とご協力を頂きました所属施設・関係者の皆さまに、改めて心より御礼申し上げます。

本会では、平時から災害発生時に迅速な支援活動が行える体制の整備を進めています。

今後も関係機関との連携を図りながら、災害時に診療放射線技師として必要とされる地域医療を支えるための取り組みを継続してまいります。

被災された皆さまが一日も早く平穏な日常を取り戻されますことを、心よりお祈り申し上げます。



JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（会員手続き→各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

日本臨床衛生検査技師会との定期連絡懇話会 開催される (Web併催)

2026年8月18日(火)、日本臨床衛生検査技師会会館ビル3階会議室で、第7回日本臨床衛生検査技師会(以下、JAMT)・日本診療放射線技師会(以下、JART)定期連絡懇話会が開催されました。

出席者はJAMTから長沢会長、滝野副会長、丸田副会長、實原副会長、益田常務理事、橋爪事務局長が、JARTからは上田克彦会長、富田博信副会長、児玉直樹副会長、*江藤芳浩副会長、江端業務執行理事、堀住雄策事務局長が出席しました(*:Web参加)。

まず、両代表のあいさつと出席者による自己紹介から懇話会は始まりました。JAMT側は執行部が交代しているため、初顔合わせの役員もおられました。懇話はタスク・シフト/シェアの現状と課題、今後の新たな業務拡大についての両団体からの意見交換から始まりました。その後、両団体の学術大会での共同シンポジウムなどの提案もありました。

報告に移り、JAMTからは国際学会の紹介や、今後の業務拡大についての方向性の紹介などがありました。JARTからは本年の事業計画の中から、タスク・シフト/シェアの状況や原子力災害発生時の甲状腺簡易測定研修、IAEA国際協力、医療情報セキュリティへの取り組み、第42回・43回・44

回(2nd JCRTM)学術大会の開催紹介などが行われました。

また直近で発生した令和8年熊本地震でのJARTの取り組みとして、保健医療調整本部へのリエゾン派遣と被災病院への診療放射線技師の支援派遣を行ったことが報告されました。JAMTからはDVT検診への協力や病院支援について報告されました。

2027年にはJARTの創立80周年記念式典を挙行することを報告し、JAMTにも記念式典への出席依頼を行い和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われ、懇話会は終了しました。



2026年度 がん対策委員会 Webセミナー 「肺がん検診の現在と未来—予防医学・AI・最適化 の視点から—」開催される (Web開催)

2026年8月9日(日)、2026年度がん対策委員会Webセミナーとして、「肺がん検診の現在と未来—予防医学・AI・最適化の視点から—」を開催しました。本セミナーでは、肺がん検診を取り巻く最新の知見を共有し、診療放射線技師が果たすべき役割について考えることを目的として、肺がんの予防・検診に関するエビデンス、低線量CT肺がん検診の対策型検診への導入、AIを含む画像診断支援技術、放射線防護および診断参考レベル(DRL)を踏まえた撮影条件の最適化について、4人の講師にご講演いただき、総合討論を行いました。

講演を通じ、肺がん死亡率の低下という検診本来の目的を見据え、検診による利益だけではなく、過剰診断などの不利益についても理解した上で、適切に運用することの重要性を再認識しました。また診療放射線技師には、被ばく線量を勘案した撮影条件の最適化や画像品質管理に加え、AIなど新たな技術の特性や限界を理解し、検診の質と安全性を支える役割が求められることが示されました。今後、低線量CT肺

がん検診を適切に運用していくためには、医師をはじめとする多職種との連携を深め、施設内で共通認識を形成していくことも重要と考えられました。

事後アンケートには55人(当日参加者115人)から回答が寄せられ、セミナー全体について50人(90.9%)が「満足」、講演の関連性や流れについて48人(87.2%)が「理解しやすい」と回答し、おおむね高い評価が得られました。自由記載では、過剰診断の問題、線量と画質の最適化、AI支援技術の実務への導入、標準化された最適化指標の評価方法などへの関心が示された他、読影体制や他のがん検診を対象とした企画を希望する意見も寄せられました。またセミナーのオンデマンド化を望む声もありました。

今後も、科学的根拠と検診現場を結び付け、診療放射線技師ががん検診の質の向上に主体的に関与できるよう、継続的な情報提供と教育の機会を企画していきたいと思います。

(がん対策委員会 太田 誠一)

2026年度 第1回放射線被ばく相談員講習会 開催報告(Web開催)

放射線被ばく相談員分科会 分科会長 荒木 智一

2026年8月23日(日)午後0時25分から、放射線被ばく相談員講習会をWebで開催致しました。今回は、全国から187人の方にご参加いただきました。

本講習会は、これまで定員を50人程度として開催してまいりましたが、ありがたいことに受講を希望される方が多く、定員に達したためにお申し込みいただけない場合もありました。そのため資格を取得したくても、受講の機会を得ることが難しい状況が続いていました。そこで今回から、より多くの会員の皆さまに広く学びの機会を提供できるよう、募集定員を200人と大幅に拡大致しました。187人という多くの方にご参加いただいたことから、被ばく相談に対する関心の高さを改めて感じています。

本講習会では、放射線に関する専門的な知識に加え、相談者の不安や悩みに向き合うためのカウンセリングの基礎につ

いても学びます。今回は定員の拡大に伴い、これまで実施していた少人数による傾聴訓練から、模擬被ばく相談を観察する形式へと変更しました。相談員がどのように話を聴き、言葉の背景にある不安を捉え、どのような言葉と順序で説明するのかを観察しました。また言葉だけではなく、表情や声のトーン、相づち、間の取り方などにも目を向け、「自分ならどのように対応するか」を考えることで、傾聴とコミュニケーションの重要性を学ぶ機会になったと考えます。

放射線被ばく相談員の資格は、取得することがゴールではありません。特にカウンセリング学は、認定後も継続して学び、実践と振り返りを重ねながら相談員としての力を高めていくことが大切です。

今後も分科会として、認定後も継続して学びを深められる機会の充実に努めてまいります。そして傾聴を重視した相談対応のできる放射線被ばく相談員が全国の臨床現場で活躍し、被ばくに関する不安や悩みを抱える患者さまやそのご家族の安心につながることを期待しております。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

熊本県

一般社団法人熊本県放射線技師会 会長 田上 真之介

2026年6月21日(日)、熊本中央病院において2026年度のフレッシューズセミナーを開催しました。今年から新たな内容での開催となり、役員一同もフレッシュな気持ちでの研修会となりました。当会独自の企画として、グループワークにHUG「避難所運営ゲーム H (hinanzyo 避難所)、U (unei 運営)、G (game ゲーム)」を行いました。HUGとは、静岡県で開発された災害時の行動をイメージし、生き残り、支え合うための行動を実践的に学び、その体験を通して、より防災・減災に関心を持ってもらうことを目的としています。

熊本県においては2016年の熊本地震、2020年の豪雨災害などの大規模災害を経験しており、今回の参加者の多くは熊本地震の時は小学生くらいの年代の方でした。実際に避難所で避難生

活を送った方はいませんでしたが、避難所を運営していくという難題に、初対面の顔ぶれが多い中、次々に状況が変化していく具体的なシナリオに対応すべく、各グループは真剣に取り組まれていました。その中でお互いの意見を尊重し、時間の経過とともにコミュニケーションも

深まっていく様子が伝わってきました。運営したわれわれも当時の状況を思い出すとともに、災害訓練の重要性を改めて実感できる良い内容となりました。

その後、茶話会においてリフレッシュした気持ちでさらにお互いのコミュニケーションを深め、医療安全や医療被ばく低減に関する基礎的な講義を行いました。また入会案内では職能団体の必要性が分かりやすく解説されており、本セミナーを通して一人でも多くの方が技師会に入会していただければ幸いです。(2026年6月22日執筆)



滋賀県

公益社団法人滋賀県診療放射線技師会 会長 武田 宣明

2026年6月28日(日)、大津赤十字病院で「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を開催しました。

本年度の日本診療放射線技師会のプログラム改定に伴い、当会では従来プログラムに代わり、半日案の新プログラムを採用しました。さらに例年、参加者から高評価を頂いている「KYT(滋放技版)」「気管支体操」と「病気の理解(脳・神経)」を組み込み、午前10時20分から午後4時45分まで充実した内容で実施しました。

本セミナーは、参加者同士の交流やネットワーク構築、そして実務に役立つ臨床知識の取得を目的としています。当日



はほとんどが入職1年目のフレッシュな24人が参加し、「コンセンサスGame」などのグループワークでは、同年代同士で和気あいあいとした雰囲気の中、活発な議論が行われました。

本セミナーをきっかけに、未入会の方が一人でも多く入会されること、そして今後、県内の研修会などで顔を合わせた際には、気軽にあいさつを交わせる良好な関係が続くことを期待しています。

京都府

公益社団法人京都府診療放射線技師会 学術理事 中川 政幸

初夏の風がそよぐ2026年6月28日(日)、京都府立医科大学看護学学舎において「フレッシューズセミナー」を開催しました。当日は期待に胸を膨らませた新人技師29人に加え、既入会員を含めた総勢39人が一堂に会し、会場は終始熱気に包まれました。

本セミナーは、従前プログラムとして臨床の礎となる「医療安全」「医療コミュニケーション」「感染対策」および「入会案内」を主軸に据え、座学のみならず実践的なワークアウトを展開。グループディスカッションでは、それぞれの視点から活発な意見交換がなされ、各グループによる発表の場は、弾むような笑顔と真摯な熱弁で大いに盛り上がりました。

事後に行った独自アンケートでは、「さらに深い議論のた



めに時間が欲しかった」「他グループの知見にも触れたかった」といった、学びに対する極めて前向きな渴望が多く寄せられました。受講者の真っすぐな向上心とポテンシャルの高さは、今後を担う人材としての大きな成長を確信させるものでした。

また入会案内においては、安心の担保として「保険制度」を中心に丁寧な解説を行い、深い理解が得られたと思います。

愛知県

公益社団法人愛知県診療放射線技師会 副会長 川口 範洋

愛知県診療放射線技師会では、2026年7月5日(日)、JAあいちビル大会議室において「令和8年度フレッシューズセミナー」を開催し、55人の新人診療放射線技師の皆さまにご参加いただきました。

本年度は、従来の座学中心による一方向の研修だけでなく、参加者同士の交流を深めることを目的とした新たな企画を実施しました。

「診療放射線技師のための安全な移乗介助(講義と実習)」では、刈谷豊田総合病院リハビリテーション科の浅井慎也先

生をはじめ7人の理学療法士の先生方を講師としてお迎えし、安全な移乗介助について講義および実習指導を行っていただきました。実際に車いすを使用し、理学療法士の先生方の指導の下、参加者同士が安全な移乗介助方法を熱心に練習している姿が印象的でした。

またもう一つの企画として、「つな



がる」「共有する」「成長する」をテーマに、グループディスカッションを実施しました。8つのグループを編成し、役員も各グループに加わることで活発な意見交換が行われ、参加者同士が交流を深める貴重な機会となりました。本セミナーを通じて築かれたつながりが、今後、さらに広がっていくこ

とを期待しております。

最後に、本セミナーの開催に当たり、ご尽力いただきました講師の先生方をはじめ関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



石川県

公益社団法人石川県診療放射線技師会 会長 石黒 充

2026年7月5日(日)、石川県立中央病院において令和8年度フレッシューズセミナーを開催しました。

本年度は、例年以上に新入会員の獲得を重要な目標として企画しました。開催に当たっては、JARTが推奨する新プログラムではなく、新人診療放射線技師が日常業務で役立つ講義や、毎年、好評を頂いている患者移乗(トランスファー)実習を中心に構成し、「受講したい」「受講してよかった」と感じていただける実践的な内容を目指しました。また昼食時間を含めた約4時間という、参加しやすいコンパクトなプログラムとし、過去最多となる31人の参加申し込みを頂きました。

昼食時には、作本副会長によるランチョンセミナーを開催し、診療放射線技師会へ入会するメリットについて多角的な視点からご説明いただきました。また自己紹介では、他施設に勤務する同期との再会を楽しみに参加したとの声も聞かれ、休憩

時には、用意したスイーツを囲んで和やかに歓談する様子が見られました。実際の撮影室で実施した患者移乗実習も終始和やかで、かつ活気ある雰囲気の中で行われました。参加者同士の交流も深まり、本セミナーの目的である親睦と入会促進につながる有意義な機会になったものと感じています。

短い時間ではありましたが、参加者にとって実りあるセミナーとなり、新人診療放射線技師の今後の業務や自己研鑽の一助となれば幸いです。また本セミナーをきっかけに、多くの新人診療放射線技師が本会にご入会いただけることを期待しております。



高知県

公益社団法人高知県診療放射線技師会 会長 中村 伸治

2026年7月11日(土)、高知市総合あんしんセンター2階本会事務所会議室において、日本診療放射線技師会と高知県診療放射線技師会との共催により、2026年度フレッシューズセミナーを開催しました。参加者は8人でした。

内容は昨年度までと違い、ハイブリッド形式(従前プログラム+新プログラム)で行いました。また開始時刻を午後に変更して、準備にも余裕がありました。最初に新プログラムの①「放射線部門に特化した医療安全」「活動紹介と入会のご

案内」の動画を視聴してもらいました。次に②KYT(危険予知トレーニング)を行いました。グループワークとして、8人を3グループに分けて、1問目は全員で危険因子や対応策について考え、KYTの進め方を理解してもらいました。2~6問については各グループで意見を出し合いながら検討し、グループごとに発表を行ってもらいました。次に従前プログラムの③「被ばく低減」(前田理事)について講義を行いました。県独自のプログラム④「STAT画像講義」を八百川先生に行って

いただきました。参加者を2グループに分けて実際の業務を想定し、画像を観察、所見を報告するという実践的なトレーニングを行いました。最後に⑤高知県診療放射線技師会の活

動内容や今後の取り組みに関して会長から紹介しました。参加者同士で話し合い、意見を交換することで、考え方の共有や理解を深めることができましたと感じます。



「STAT 画像講義」グループワーク中



福井県

公益社団法人福井県診療放射線技師会 理事 上坂 大輔

～新人技師の「学び」と「つながり」を深める一日～

2026年7月11日(土)、新人診療放射線技師を対象とした「フレッシューズセミナー」を開催し、今回は新人技師11人(2・3年目を含む)が参加しました。

今回のセミナーは、「新人技師同士の横のつながりをつくる」ことを大きな目的として企画しました。そのため専門的な知識を学ぶ講義だけではなく、新人技師同士がコミュニケーションを取りながら学べる内容を取り入れました。

講義では、「明日から当直?! どうする?? ～当直までに必要なことを知ろう!～」をテーマに、CT、MRI、救急撮影について、それぞれの認定技師から講義を行いました。また放射線部門に特化した医療安全についてのミニ講義や、危険予知トレーニング(KYT)のグループワークも実施しました。

セミナーの冒頭では「他己紹介」を行いました。参加者は、紹介する相手のことを知るためにお互いにさまざまな質問を行い、一人一人の個性が伝わる紹介となりました。初対面同士の参加者にとって、お互いを知るきっかけとなり、自然なコミュニケーション

が生まれる時間となりました。

またKYTではグループワーク形式を取り入れました。一人では気付



かなかった危険について、他の参加者からの意見を聞くことで新たな気付きを得るなど、参加者同士で考え、学ぶことの大切さを実感できる機会となりました。

セミナー終了後には懇親会も開催しました。新人技師10人、理事10人の計20人が参加。新人技師同士の交流だけではなく、先輩技師と新人技師が会話を楽しむ姿も見られ、世代を超えた交流を深めることができました。

今回のフレッシューズセミナーが、新人技師の皆さんにとって日々の業務に必要な知識を身に付けるだけではなく、困ったときに相談できる仲間や、将来に向けてつながりを築くきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、ご参加いただいた新人技師の皆さま、講師を務めていただいた皆さま、開催にご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

今後も福井県診療放射線技師会では、若手技師が互いに学び、交流し、成長できる機会を大切にしていきたいと思ひます。

長野県

一般社団法人長野県診療放射線技師会 理事 相馬 朋子

2026年7月25日(土)、長野県診療放射線技師会フレッシューズセミナーを開催し、県内の新人診療放射線技師12人が参加しました。

講義では、「放射線部門に特化した医療安全」、障害のある方への理解と対応を学ぶ「あいサポート研修」、長野県MR研

究会による「MRIの基礎に関する講義」を実施しました。後半には、グループワークと気管支体操を行い、参加者同士がコミュニケーションを取りながら交流を深める時間を設けました。

参加者アンケートでは、「MRIの危険性や基礎知識を再確認

できた」「外見からは分かりにくい障害を含め、障害のある方への対応について学ぶことができた」「肺区域や胸部画像の見方を、今後の業務に生かしたい」といった感想が寄せられました。また同年代の新人技師や他施設の参加者と交流できたことについても、好意的な意見が多く寄せられました。

参加者の皆さまにとって、学びと交流を深める有意義なセミナーとなりました。開催にご協力いただいた皆さま、ならびにご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



2026年度レントゲン週間イベント(市民向けイベント)の紹介

INFORMATION

本年度の国会共催／後援のレントゲン週間イベント(市民向けイベント)が以下の通り開催されます(すでに終了したイベントも含む)。詳細は、各都府県(診療)放射線技師会にお尋ねください。

地域	技師会名	区分	開催日	開催市	会場	イベント名
東北	(一社)岩手県診療放射線技師会	共催	11月 1日(日)	矢巾町	やはばーく(矢巾町活動交流センター)	公開講演会
東北	(公社)秋田県診療放射線技師会	共催	11月14日(土)	秋田市	秋田駅前ぼろーど	医療放射線画像展2026
東北	(公社)福島県診療放射線技師会	共催	11月 8日(日)	郡山市	星総合病院ボラリス保健看護学院 メグレズホール	令和8年度福島県診療放射線技師学術大会 一般公開講演
北関東	(一社)新潟県診療放射線技師会	共催	9月12日(土) 9月13日(日)	長岡市	アオーレ長岡(長岡市役所)	すこやか・ともじびまつり2026
北関東	(一社)群馬県診療放射線技師会	共催	10月10日(土) 10月11日(日)	前橋市	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ふれあいグラウンド	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2026ぐんま
南関東	(一社)千葉県診療放射線技師会	共催	11月 1日(日)	船橋市	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)メインアリーナ内	第20回ふなばし健康まつり
南関東	(公社)神奈川県放射線技師会	共催	10月11日(日)	小田原市	ダイナシティ ウエスト1階 キャニオン広場	小田原市ふれあいけんこうフェスティバル(第44回 小田原地区糖尿病週間行事)
中日本	(公社)福井県診療放射線技師会	共催	11月29日(日)	福井市	ショッピングシティ ベル3階あじさいホール	令和8年度健康フェア
中日本	(公社)静岡県診療放射線技師会	共催	9月12日(土) 9月13日(日)	浜松市	アクトシティ浜松 展示イベントホール	メディメッセージ2026
近畿	(公社)滋賀県診療放射線技師会	共催	10月18日(日)	大津市	明日都浜大津	2026おおつ健康フェスティバル
近畿	(公社)京都府診療放射線技師会	共催	11月 3日(火・祝)	京都市	京都府立植物園	府民交流フェスタ
近畿	(一社)和歌山県診療放射線技師会	共催	10月25日(日)	紀の川市	道の駅 青洲の里	青洲まつり2026
中四国	(公社)広島県診療放射線技師会	共催	11月 3日(火・祝)	広島市	紙屋町シャレオ中央広場	レントゲン週間2026
中四国	(一社)島根県診療放射線技師会	後援	11月14日(土) 11月15日(日)	出雲市	出雲ドーム(出雲健康公園)	いずも産業未来博2026
九州	(公社)福岡県診療放射線技師会	共催	10月18日(日)	北九州市	イオンモール八幡東	第25回健康21世紀福岡県大会
九州	(一社)長崎県診療放射線技師会	共催	11月 1日(日)	南島原市	南島原市ありえコレジヨホール	南島原市健康福祉まつり
九州	(公社)大分県放射線技師会	共催	11月14日(土)	大分市	大分県立図書館	県図書ほけん室
九州	(一社)熊本県放射線技師会	共催	11月15日(日)	熊本市	熊本城ホール	令和8年度 熊本市市民健康フェスティバル
九州	(公社)鹿児島県診療放射線技師会	共催	10月18日(日)	鹿児島市	フレッシュ青果スポーツランド	令和8年度 第43回 市民健康まつり

※ 2026年9月15日時点で申請があった分です。

第1回 **第43回日本診療放射線技師学術大会 (43rd JCRT)**
第14回アジア放射線治療シンポジウム (14th ARTS)

福岡への道 Go To FUKUOKA

大会長 塩谷 正貴

学術大会開催のお知らせ

第43回日本診療放射線技師学術大会を、2027年9月25日(土)・26日(日)の2日間、福岡市の福岡国際会議場において開催致します。

本大会のテーマは、「道をひらく光となれ ～志と革新が導く放射線診療の新時代～」としました。

「道をひらく」という言葉には、変化や困難の中にあっても、自ら考え、一歩ずつ前へ進んでいくという思いを込めています。また「光」には、放射線診療そのものの象徴と、私たちがこれから進むべき方向を照らす希望の意味を重ねました。

周知の通り、われわれ診療放射線技師は、AIや医療DXの推進による技術革新、医療安全や放射線防護への社会的要請、業務範囲の拡大、多職種連携、国際化など、大きな変革のただ中にいます。

先人が築いてきた知識や経験を受け継ぎながら、革新的な技術や発想を取り入れ、次代の放射線診療を創っていく。そのためには、人任せにせず、私たち一人一人が「志」を持ち、それぞれの立場から進むべき方向を考えることが求められます。JARTスローガンにもうたわれる、診療放射線技師の使命と責任を果たすための基盤となる考え方であり、今や多くの仲間たちがそれを考え、実行しはじめているようにも感じています。

その思いを象徴するものとして、本大会のポスターには、福岡県福津市にある**宮地嶽(みやじだけ)神社**の「光の道」を採用しました。宮地嶽神社は、古くから多くの人々の信仰を集めてきた場所です。何事にも打ち勝つという祈りが綿々と受け継がれてきた場所であり、毎年2月ごろと10月ごろには、神社から海へと延びる参道の先に夕日が沈み、一本の「光の道」が現れます。少し長い石段を登り切って振り返ると、この風景を望むことができます。

長い歴史の中で受け継がれてきたものと、これから歩んでいく未来とを一筋の光が結ぶ光景は、先人の知と先進技術を融合し、次代の放射線診療を切り拓こうとする本大会のテーマにもしっかりと重なっています。

日本診療放射線技師学術大会は、福岡県では初めての開催となりますが、会場へのアクセスは空路・陸路ともに大変良いため、ご参加の皆さまにはスムーズに会場にお越しいただけたと思います。

本大会より2日間開催となりますが、ご参加の皆さまには、ぜひ福岡の魅力にも触れていただきたいと思います。

博多ラーメン、**もつ鍋**、**水炊き**、**新鮮な魚介**、そして**夜の屋台**など、福岡には豊かな食文化があります。また**博多祇園山笠**で知られる**櫛田神社**や**太宰府天満宮**、**百道浜(ももちはま)**、**糸島**など、少し足を延ばせば、それぞれに趣の異なる風景を楽しむことができます。

もっと時間に余裕のある方は、県内の他の地域も訪れてみてはいかがでしょうか。**門司港レトロ**や**小倉城**など、歴史と港町の風情を感じるエリアや、明治日本の産業革命遺産である**官宮八幡製鐵所**のある**北九州**。かつて炭鉱で栄え、**旧伊藤伝右衛門邸**や**嘉穂(かほ)劇場**など歴史を感じるスポットが点在し、山々に囲まれた懐かしく温かな風景も楽しめる**筑豊**。そして**柳川の川下り**、**八女茶**、**久留米のグルメ**、**うきはのフルーツ**など、豊かな自然も満喫できる**筑後**。福岡県には魅力ある場所がたくさんあります。

全国からお越しいただく皆さまが、多くの学びと出会いを持ち帰り、「また明日から頑張っていこう」と感じていただける、そして心に残る学術大会にしたいと考えています。

2027年9月、福岡の地で皆さまとお会いできることを、心より楽しみにしています。

INFORMATION



福岡国際会議場



宮地嶽神社



博多ラーメン



道をひらく光となれ

～志と革新が導く放射線診療の新時代～

第43回 日本診療放射線技師学術大会

The 43rd Japan Conference of Radiological Technologists

JARTスローガン ▶ 安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう

第14回 アジア放射線治療シンポジウム

The 14th Asia Radiotherapy Symposium (ARTS)

2027 9/25 SAT ▶ 26 SUN

会場

福岡国際会議場
(現地開催 + オンデマンド)

会長: 上田 克彦
公益社団法人
日本診療放射線技師会 会長

大会長: 塩谷 正貴
公益社団法人
福岡県診療放射線技師会 会長

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催: 公益社団法人 福岡県診療放射線技師会

後援: 厚生労働省 (予定) / 福岡県 (予定) / 福岡市 (予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会

大会事務局 公益社団法人福岡県診療放射線技師会
〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学病院 医療技術部 放射線部門内
TEL: 092-642-5801 (MR 検査室) Email: 43jcrt@gmail.com

運営事務局 株式会社日本旅行 九州法人営業部
〒812-0007 福岡市博多区東比恵 1-4-10 S-GATE FIT 東比恵 3 階
TEL: 092-451-0606 FAX: 092-451-0550 Email: jcrt43@nta.co.jp



<https://www.jcrt43.com>

「働き方改革」との付き合い方



「働き方改革」という言葉が定着して久しいですが、皆さんはこの制度や時代の波とどう付き合っているのでしょうか。「残業時間が減ったが、仕事量は変わらない」「効率化を求められて逆にストレスが増えた」「休む人が増えて、残された人の負担が増えた」などといった、理想と現場のギャップに悩む声も少なくないと思います。現に管理職の皆さまはどのように感じているのでしょうか？

制度としての働き方改革は、あくまで職場環境を整えるための「枠組み」に過ぎません。本当に大切なのは、与えられた枠組みの中で「自分自身がどう働きたいか」「組織としてどう働けるか」という主体的・能動的な視点を持つことです。会社や

社会から提示されたルールをただ受け身で消化するだけでは、かえって業務が窮屈に感じられてしまいます。

まずは「時間を減らすこと」そのものを目的にするのではなく、「浮いた時間で何をするか」が重要かと思います。スキルアップの勉強をする、家族や友人との時間を増やす、あるいは心身をじっくり休める。自分の人生を豊かにするための目的意識を持つことで、日々の業務効率化やタスクの優先順位付けにも前向きな意欲が生まれます。

働き方改革は、限られた時間を組織として、また個人として上手に使いこなし、これからの時代をいかに豊かにできるかが鍵ではないでしょうか。

(文責：平野 雄二)

10月・11月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線取扱主任者定期講習 : 東京 2026年10月16日(金)
- STAT 画像所見報告セミナー : Web開催 2026年11月12日(木)
- 認定資格試験：全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施 (テストセンター一覧：<https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>) 2027年3月7日(日)まで

[e-ラーニング (ストリーミング方式)]

- | | |
|--|--|
| ■ 医療放射線安全管理責任者講習会 | 2026年10月13日(火)正午から2027年1月24日(日)まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月1日(月)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 医療安全管理者養成研修 | 2026年10月13日(火)正午から11月13日(金)正午まで申し込み受け付け
・e-ラーニング期間：2026年11月16日(月)午前10時から2027年1月29日(金)午後1時まで
・事前接続確認：2027年2月6日(土)午後6時から1時間程度
・集合研修開催日：2027年2月7日(日)午前9時から午後5時30分まで(オンライン演習)
※集合研修の受講は、e-ラーニング(35時間)を期間中に修了した方に限ります。 |
| ■ JART会員向け原子力災害医療基礎研修 (e-ラーニング) | 2027年1月17日(日)まで申し込み受け付け(予定)
※右記「被ばく医療研修ポータルサイト」より申し込みください。 https://retms.nirs.qst.go.jp
※申し込みの際、JART会員番号の記入や個人情報の取り扱いなどについて注意事項がありますので、「JART会員向けR8年度基礎研修募集要項」を必ずご確認の上お申し込みください。 |
| ■ 生涯教育 クリニカルリーダー(e-ラーニング) セミナー ラダーレベル3 | 2027年1月27日(水)まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 生涯教育 マネジメントリーダー(e-ラーニング) セミナー | 2027年1月27日(水)まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修 | 2027年1月27日(水)まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 認定資格の取得を目指す受講生の募集 | 2027年2月1日(月)正午まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
※本講習会を修了しませんでした、認定資格試験のお申し込みはできません。 |
| ■ 告示研修(基礎研修) | 2027年3月31日(水)まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年4月30日(金)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー | 2027年3月31日(水)まで申し込み受け付け |

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。